

令和 3 年 度
公立大学法人三重県立看護大学
業務実績報告書 資料 目次

〈添付資料〉

中期目標（数値目標）に対する実績一覧	1
中期目標（数値目標）に対する未達成項目について	2

〈補足資料〉

【21101】

入学者選抜方法の点検 参考データ	3
令和 7 年度三重県立看護大学入学者選抜の実施方針について	4

公立大学法人三重県立看護大学中期目標(数値目標)に対する実績一覧

指標名	第三期中期目標期間								基準値	備考
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計			
II-1 教育に関する目標										
看護師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.8	
	実績値	99.0						-		
保健師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	91.6	
	実績値	96.0						-		
助産師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.2	
	実績値	100.0						-		
看護師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	99.0	
	実績値	98						-		
保健師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	91.6	
	実績値	95						-		
助産師国家試験合格者数(人)	目標値	10	10	10	10	10	10	-	10.8	
	実績値	10						-		
県内就職率(%)	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	-	51.4	県内への看護職就職者数/就職者数
	実績値	62.5						-		
修士学位取得者数(人)	目標値	8	8	8	8	8	8	-	5.6	研究科での学位取得者数
	実績値	12						-		
II-2 研究に関する目標										
競争的研究資金申請率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	99.3	申請(継続含む)教員数/在職教員数
	実績値	97.9						-		
外部研究資金採択率(率)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	52.4	科学研究費補助金等の外部研究資金の採択率
	実績値	50.0						-		
III 社会・地域貢献に関する目標										
看護職者を対象とした講座等の開催数(回)	目標値	100	100	100	100	100	100	-	100	看護職者を対象とした専門講座等を開催した数
	実績値	123						-		
県民向け講座等の開催数(回)	目標値	96	96	96	96	96	96	-	96	県民が参加可能な講座等を開催した数
	実績値	97						-		
学術研究団体等のさまざまな主体の活動に参画した数(人)	目標値	48	48	48	48	48	48	-	48	県内外の学術研究団体の役員や行政等の審議会委員等に就任した教員の延べ人数
	実績値	58						-		
IV 大学運営に係る環境整備に関する目標										
学生アンケートにおける学生の満足度(%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	-	79.6	学生アンケートによる大学生活の支援に対する満足度
	実績値	97.1						-		
V 的確な業務運営の実施および業務改善に関する目標										
中期目標期間中の改善事例件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	-	10	1.6	中期目標期間中に学生や教職員から要望を受け改善に取り組んだ事例の総数
	実績値	3						-		
VI 財務内容の改善に関する目標										
中期目標期間中の法人の自己収入額(千円)	目標値	-	-	-	-	-	-	143,000	165,532	中期目標期間中の授業料、入学金を除く自己収入総額
	実績値									
VII 大学教育の質保証および情報の公開・発信に関する目標										
自己点検・評価結果に基づく改善率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100	前年度の課題の解決に向けての取組の実施割合
	実績値	100.0						-		
自己点検・評価の実施状況(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	-	1	自己点検・評価の実施回数
	実績値	2						-		

中期目標（数値目標）に対する未達成項目について

指 標 名	令和3年度		理 由 等
	目標値	実績値	
看護師国家試験合格率 (%)	100	99.0	<p>令和3年度の看護師国家試験の合格率は、99%（99名中98名合格）であり、昨年に引き続き全国平均（96.5%）を上回ったが、100%の合格率は達成できなかった。</p> <p>国家試験対策として、看護師模擬試験は3年次の低学年用模試を含めて5回の試験を実施した。国家試験への教員の支援体制は、卒業研究のゼミ担当教員が中心となって指導し、担当教員が確認した個々の学生の国家試験の準備状況について、全教員が共有できるようにした。看護師国家試験模試の成績不振者に対して個別指導を実施し、国家試験対策ワーキング員から定期的な支援メールを送信し、学生への意識づけを行った。</p> <p>令和4年度は、国家試験対策として今年度有効であったと思われる卒業研究担当教員からの国家試験に対する学生への働きかけを継続していくこと、新型コロナウイルス感染症の影響で多くなったオンライン対策講座を利用していくことなどを実施していきたい。</p>
保健師国家試験合格率 (%)	100	96.0	<p>令和3年度の保健師国家試験の合格率は96%（99名中95名合格）であった。昨年度の合格率（96.0%）と同等であり、また全国平均（93.0%）を上回ったが、100%の合格率は達成できなかった。昨年に引き続き、保健師・看護師統合カリキュラムにおいて看護師国家試験を優先し保健師国家試験対策の取組が遅れないよう、意識付けを行うことを継続した。保健師国家試験について、専門領域の教員がクラス全体や専攻課程の学生に向けての補講・面談、さらに保健師国家試験に関する領域教員からの定期的な支援メール送信を行い、学生への意識づけを行った。医療系国家試験対策予備校による保健師国家試験対策特別講座（2日間）を対面で開講し、満足度は97%と良好であった。</p> <p>国家試験対策担当を卒業研究担当教員に変更したことで、学生と話をする機会が増え、勉強方法の相談や励ましなどの機会が例年に比べて多くなるとともに、教員自身の国家試験対策への関心が高まったと思われるが、全員合格には至らなかった。次年度も引き続き対策の内容について充実を図り、合格率100%をめざしていきたい。</p>
競争的研究資金申請率 (%)	100	97.9	<p>科学研究費補助金をはじめとする競争的研究資金については、全教員が年1件以上申請することを目標に取り組んでいるが、令和3年度においては、教員1名が申請に必要な研究体制を整えることができず申請に至らなかった。令和4年度も引き続き、外部研究資金・研究助成公募の情報をメールで教職員に周知し、公募内容を学内ホームページで公開することで教員が研究資金を申請しやすい環境を整える。</p>

【入学者選抜方法の点検】参考データ

現行の入試制度による入学者（平成30年度以降の入学者）累積GPA平均値は次のとおり。

地域推薦入試A（4学年 109名）： 2.65

地域推薦入試B（4学年 21名）： 2.67

地域推薦入試C（3学年 14名）： 2.66

指定校推薦入試（3学年 7名）： 2.99

指定校特別枠推薦入試（4学年 5名）： 2.98

前期日程入試一般枠（4学年 181名）： 2.58

前期日程入試地域枠（4学年 20名）： 2.49

後期日程入試（4学年 45名）： 2.54

令和7年度三重県立看護大学入学者選抜の実施方針について（案）

平成30年3月に改訂された高等学校の新学習指導要領は、令和4年度に高等学校に入学する生徒から適用され、大学としては、令和6年度に実施する令和7年度入学者選抜から同要領に基づく教育を受けた者に対する入学者選抜を行うこととなる。

新学習指導要領においては、学力を構成する特に重要な3要素を掲げており、文部科学省の通知する大学入学者選抜要項においても、これに対応した能力、すなわち①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・協働性を適切に把握し、志願者の能力・意欲・適性等を評価することが求められている。

また、新学習指導要領においては「情報Ⅰ」が必修科目とされ、令和7年度大学入学者共通テストにおいても「情報」の試験が導入されることが決定している。

さらに、本学は県立大学として、三重県の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材の育成を使命の1つとしている。県内住民の多様化に伴い、看護職が必要とされる場面においても、様々な言語・文化に通じた人材が求められている。

これらに対応するため、以下により令和7年度入学者選抜を行う。

(1) 「学習成績の状況」の計算方法の変更

これまで、本学の特別選抜においては、出願要件として求める「学習成績の状況」の数値について、「国語」「数学」「外国語」「理科」「『地理歴史』・『公民』」の5教科の数値のみを計算の対象としていた。しかし、学力の3要素はこの5教科に限り培われるものではなく、高校生活のすべてにおいて評価されるべきものである。よって、令和7年度入学者選抜における「学習成績の状況」の数値については、全教科を対象として計算するものとする。

(2) 地域推薦型選抜

これまで、基礎学力検査として外国語の試験を課していたが、これを外国語の読解を含む小論文の試験に変更する。これは、学力の3要素のうち、①知識・技能に加え、②思考力・判断力・表現力についても評価することを目的とする。

また、これまで学校推薦型選抜と併願可能としていたが、より地域への貢献の意思が強い学生を確保するため、学校推薦型選抜と地域推薦型選抜は併願不可とする。

【配点】

小論文（外国語の読解を含む）100点、面接

(3) 指定校推薦型選抜の廃止

指定校推薦型選抜は、高等学校における理科の履修科目を出願要件として指定することで、理系の生徒を募集する選抜であり、指定校となる期間は選定時から3年間としていた。しかし、一般に高等学校における文理選択が行われるのが1年生の秋ごろであるため、選定の初年度及び2年目の入学者選抜においては対象の学年が文理選択を終えた後であり、出願要件を満たす志願者がいないため同選抜の定員に満たない年もあった。この指定校の選定時期と進路の選択時期のずれによる不合理を解消することは困難であるため、指定校推薦型選抜は、令和7年度入学者選抜から廃止する。

(4) 東紀州地域指定校推薦型選抜

本学に進学し、三重県の保健・医療に貢献する意思のある学生を広く確保するため、理科の履修科目にかかる出願要件を緩和する。

また、学力の3要素を適切に評価するため、小論文（外国語の読解を含む）を基礎学力検査として課す。

なお、本学が行う高大接続事業への参加は必須としない。

【出願要件】※理科の履修科目についてのみ抜粋

「化学基礎」、「生物基礎」の両方を履修し、「化学」又は「生物」を履修している者

【配点】

小論文（外国語の読解を含む）100点、面接

(5) 多言語多文化選抜（仮称）の新設

三重県の総人口に占める外国人住民の割合は3.05%（令和2年12月31日時点 三重県環境生活部『令和2年度外国人住民調査』）であり、住民の多様化が進むとともに、様々な背景を持つ人が看護職を必要としている状況にある。そこで、外国の言語・文化に通じた看護職を養成するため、また本学における多様性を実現するため、多言語多文化選抜（仮称）を新たに実施する。

【定員】

若干名

【出願要件】

次のいずれにも該当し、三重県内の市町長又は三重県内の医療機関長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者

①看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、日本語以外の母語※を活かして三重県内の保健・医療・福祉等に貢献する強い情熱と意欲を有する者

※母語とは、幼児期に最初に習得した言語である。

- ②推薦市町又は推薦医療機関に4年以上就業する強い意志を有し、推薦市町又は推薦医療機関と卒業後に貢献する保健・医療・福祉等について十分な話し合いを行っている者
- ③次のいずれかに該当し、かつ令和7年3月に高等学校を卒業見込みの者
 - (i)三重県内の高等学校に在学する者
 - (ii)令和6年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者
- ④調査書の学習成績の状況が4.0以上である者
- ⑤高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修している者
- ⑥日本語以外を母語とし、出願時においても母語で日常会話ができることを高等学校長が確認した者
- ⑦合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

【選抜方法】

調査書・推薦書の審査、本学が実施する小論文（外国語の読解を含む）及び面接の結果を総合して行う。

【配点】

小論文（外国語の読解を含む）100点、面接

(6) 一般選抜（前期日程）

①大学入学共通テストについて

看護学の分野において情報教育は必要であり、本学の新たなカリキュラムにおいても「情報リテラシー」「基礎情報学」「医療情報学」などを必修科目に設定していることから、大学入学共通テストの「情報」を受験することを求める。

【配点】

国語100点、地理歴史・公民100点、数学100点、理科100点、

外国語（英語）100点、情報50点 合計550点満点

②個別学力検査について

引き続き、外国語を必須とし、国語と数学は選択科目とする。

【配点】

外国語110点と、国語110点又は数学110点の合計220点満点＋面接

※地域枠については、これら3教科のうち高得点の1教科の成績を利用

(7) 一般選抜（後期日程）

①大学入学共通テストについて

前期日程と同様の理由により、後期日程においても大学入学共通テストの「情報」を受験することを求める。

【配点】

国語 100 点※ 1、地理歴史・公民 100 点※ 1、数学 100 点※ 2、理科 100 点※ 2、

外国語（英語） 100 点、情報 50 点 合計 750 点

※ 1 大学入学共通テストの国語、地理歴史・公民については、100 点換算後、最高得点科目の教科を 200 点配点とし、残りの教科を 100 点配点

※ 2 大学入学共通テストの数学、理科については、最高得点科目の教科を 200 点配点とし、残りの教科を 100 点配点

(8) 定員の変更

令和 7 年度入学者選抜より、定員を以下のとおり変更する。

入学定員	選抜区分		募集人員
100 名	特別選抜	学校推薦型選抜	40 名（地域推薦型選抜 6 名、東紀州指定校推薦型選抜の 2 名を含む）
		地域推薦型選抜	6 名
		東紀州指定校推薦型選抜	2 名
		帰国生徒選抜	若干名
		社会人選抜	若干名
		多言語多文化選抜	若干名
	一般選抜	一般選抜（前期日程）	50 名（一般枠 45 名、地域枠 5 名）
		一般選抜（後期日程）	10 名（帰国生徒選抜、社会人選抜、多言語多文化選抜の若干名を含む）

